



会長 菅原 慶一
 幹事 小野寺 伸浩
 会報 高田 次雄 村上 武彦
 森田 峯男

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2660回例会 2018.9.6 No.9

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 一関市長勝部修さんの、ILC（国際リニアコライダー）のお話に期待します。
- ・阿部泰彦会員 ゲストスピーカーに一関市長勝部修様並びに市長公室 ILC 推進課長小野寺様をお迎えして。よろしくお祈りします。
- ・鈴木彦太会員 阿部泰彦会員スピーチに、勝部修様をお迎えしてスピーチ楽しみます。ありがとうございます。
- ・布施孝之会員 ゲストスピーカー、一関市長を歓迎いたします。今月9月は小生の誕生月です。これからもよろしくおつき合いです。
- ・村上武彦会員 ゲストスピーカーに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 顔の広い阿部泰彦会員の縁で、はるばる田村藩よりお越し頂いた勝部一関市長を歓迎して。
- ・佐藤幸一会員 一関市長勝部さんをお迎えしてのスピーチ、大いにご期待申し上げます。
- ・江川元徳会員 ILC、兆単位の経済効果、良いことです。建設経費8,000億円。ゲストを歓迎。
- ・八谷郁夫会員 勝部修一関市長を歓迎いたします。
- ・菅原文之会員 一関市長を歓迎して。東西全日本剣道大会に於いて、氏家道男さんが大将として出場、見事勝ち東軍の勝利に導きました。氏家良典会員おめでとうございます。
- ・佐藤静市会員 ゲストスピーカー勝部一関市長様を歓迎します。
- ・布施孝尚会員 ゲストスピーカー勝部一関市長を歓迎します。9月誕生の会員の皆さん、おめでとうございます。
- ・伊藤幸子会員 先日台風、本日の地震、日本列島大荒れ、どうなるの、3・11を思い出されます。本日のスピーチ期待しています。

- ・二階堂恭子会員 今日のスピーチ、登米市の未来に大きな変化を一関市長さんの話、楽しみです。
- ・佐々木崇会員以下 ゲストスピーカーを歓迎して。
菅野幸一郎会員 山田直志会員 佐竹孝行会員
遠藤光則会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員
高橋利光会員 富士原裕子会員 太田陽平会員
杉田広仁会員 佐藤早智子会員 千葉正宏会員
阿部靖公会員 關孝会員 後藤和人会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 菅原慶一会長

9月に入り、大型の台風が日本を縦断し、各地に多くの被害をもたらしましたが、当地域では比較的被害は少なかったようです。寒暖の差も激しく、そういった中であって会員の皆様には、体調に留意され元気にお過ごしいただきたいと思っております。

先週は田中堯史ガバナーをお迎えして第2520地区、第5分区分登米栗原ゾーンの4クラブ合同例会が行われました。例会に先駆けて行われた会長・幹事会では、4クラブそれぞれの悩みであるとか、あるいは明るい話であるとか、いろいろ聞かせていただき大いに参考になりました。田中ガバナーは朴訥とした中にも、たいへん誠実さを感じさせる方で、大いに信頼のおける方だと改めて感心させられました。

同じく先週、パスト会長会が執り行われました。参加された皆さんからは、特に「名誉会員」に関しての意見を多くいただくことができ、大変参考になりました。現執行部でさらに内容を詰めてまいりたいと考えております。

さて、本日はゲストスピーカーとして、一関市長の勝部修様にきていただいております。マスコミ等で最近盛んに耳にしている ILC（国際リニアコライダー）のお話をしていただけるということです。北上山地が有力な候補地ということで、会員みんなでも多く深く内容を理解し、その誘致を前進させていきましょう。勝部市長様のお話に期待を申し上げます。

幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・ガバナー事務所より
(1)クラブ・職業・社会奉仕委員会合同セミナーの案内
日時 10月14日(日) 13:00~
場所 ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング
- (2)ロータリー米山記念奨学会研修会の案内
日時 9月30日(日) 13:00~15:00
場所 江陽グランドホテル 3階
登録料 2,000円
- ・米山記念奨学会より「よねやまガイド」が届く

誕生祝 (9月に誕生日を迎えられる会員)

三浦孝次郎会員 岩淵栄市会員 加藤亮会員
大畑好司会員 布施孝之会員



9月誕生日を迎えられる布施孝之会員と

今週のスピーチ

「ILC・国際リニアコライダーについて」 一関市長 勝部 修様

ILCとは、International Linear Colliderの略です。世界に一つだけ作る巨大な科学施設です。地下に真っ直ぐなトンネルを20km~50km作り、両端から素粒子を放射し、真ん中で衝突させます。ぶつけると言っても、そんなに危険なものではありません。6畳間で蚊が飛んでいて、蚊と蚊がぶつかる程度の衝撃です。ですから、そんなにおっかないものではありません。

将来的には、真っ直ぐなトンネルを堅い岩盤の中に50km掘り、実験装置を置いて端から素粒子を放射し、真ん中でぶつけて、その反応を測定するというのです。

いきなり50kmのものをつくるのではなく、最初は小さくスタートさせて、段階的に大きくしていこうというもので、20kmから始めます。50kmまでいきますと、岩手県だけでなく宮城県の方までトンネルが伸びてきます。

素粒子とは、この宇宙にあるものを、小さく、小さくしていくと、それ以上小さくすることができない「この世で一番小さいもの」にたどり着きます。これ以上分解できないというのが素粒子です。

これが、もうちょっと別なものがみつかるかも知れない。これで確定した訳ではありません。数年前にスイスの実験施設でヒックス粒子が発見されたということとニュースになりました。正しく言えば、ヒックス粒子らしきものが見つかったということで、まだ確定されたものではありません。

丸いトンネルの中で丸い加速器を回して衝突させる方法が一般的でしたが、丸いトンネルの中でいくらスピードを出しても、スピードを出せば出すほどエネルギーが外に飛んで行き、衝突する時にはうすくなってしまいますので、無駄なエネルギーのロスをなくするために、直線で正面衝突させ、衝突時のエネルギーを高めれば、今まで見えなかったものが、そこで新しい現象が見えてくる。そこを目指したのが ILC です。

これを世界でただ一つ日本で作るということは、海外の研究者たちが、このプロジェクトを日本でやるならば、喜んで賛同するし参加するということをもってもらっております。国内で建設候補地に上がっているのは、北上高地だけです。海拔110m、花崗岩盤が50数kmと広く分布しております。

日本でやると言えば、北上高地に決まります。しかしながら、日本政府がもたもたしておりますと、中国が手を上げます。こういった状況の中で今は、政府が最終判断をするのを待っているところです。国際的な協力を得るためには、欧州素粒子物理研究の5ヶ年計画に ILC が盛り込まなければならず、研究者の中では「そのタイムリミットが年内である」とされており、政府の早期決断を待っている状態です。建設には8,000億円という巨額な費用がかかりますので、費用を各国で分担するための政府間交渉が必要です。

日本が主導してプロジェクトをやるのは、これが初めてです。ルール作りから始めなければなりません。日本国民の理解促進が必要です。

— 紙面の都合上、要旨のみとさせていただきます。



スピーチをする一関市長勝部修様

第3回理事会議事録 (9月6日(木)分)

協議事項

- (1)長期交換留学生、テイラーさんについて
 - ・9/13(木) 例会初参加
 - ・9/22(土) B B Qで歓迎会(クリーンキャンペーン後) 会員3,000円 成人1,000円
 - ・地区からの補助金80万円
- (2)北上西 R C 創立50周年について、10名の参加
- (3)クリーンアップ湖沼群について
9/22(土) 長沼会場 8:30~ 会員はジャンパー着用
- (4)産業フェスティバルについて
9/30(日) 迫体育館(社会奉仕委員会担当)
- (5)施設慰問について
9/17(月) 南方の施設(練習:9/10、14)